

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	スレッシュホールド NGS	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離

インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：スレッシュホールド

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離

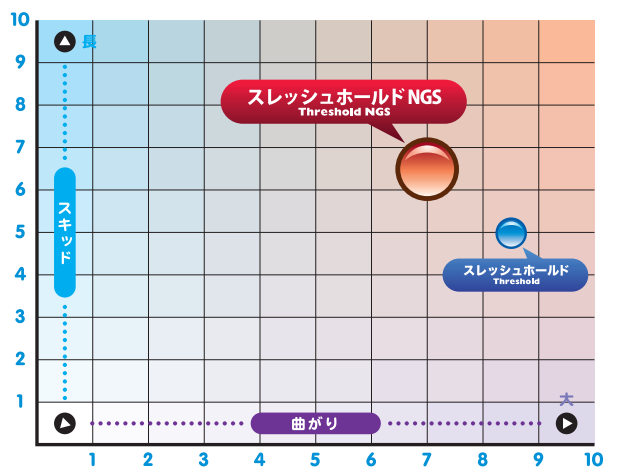
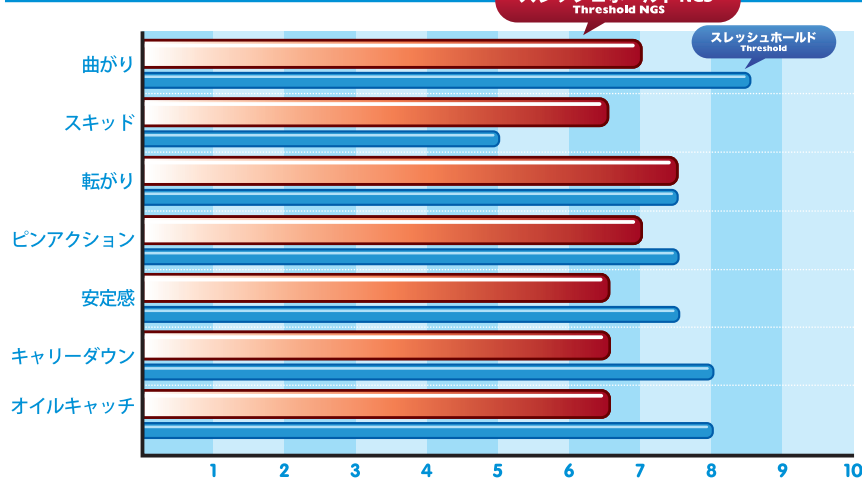
インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション					バックエンドリアクション					レングス				
Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll

ボールの評価

トーナメント会場でのヘビーオイルでそのパフォーマンスを魅せ付け、男女を問わず使用頻度ナンバーワンで即日完売に至ったスレッシュホールドから数ヶ月の期間を経て、スレッシュホールド NGS の発売です。このスレッシュホールド NGS は、スレッシュホールドで使用したNexGen Reactive cover with Micro Particle カバーストックを **NexGen s oaker カバーストックに変更し、スキッド感を出させ、スレッシュホールド・コアの強いモーションポテンシャルをバックエンドまでより持続させられるよう開発されました。** 投球した感じはスレッシュホールドよりリアクティブ感があるドライゾーンでの反応が印象的で、オイルを長く使用し投球するスレッシュホールドとオイルからドライゾーンへ向けて戻せるNGSと、カバーストックの差がハッキリとポテンシャルの違いとして出て、ラインの取り方の違いも感じられます。共通して言えるのは、双方とも柔らかくピンヒットまで終わらない曲がり方をしますので、コンディションに合わせ二つのボールを使い分けることが容易です。大多数のボールのほとんどがスキッド・バックエンドリアクションを強調させた場合、先での動きに暴れる感じが見られますが、早めの軸移動から強いモーションポテンシャルを演出できるスレッシュホールド・コアがその差を最小限に収めているように感じます。このスレッシュホールド NGS は日本のコンディションにベストマッチのボールと言えるでしょう。

特記事項

スレッシュホールド最新作であるこの NGS。日本のフランチャイズのコンディションで余すことなく、そのパフォーマンスを引き出してくれるでしょう。